

防災理念



災害は怖いものだとは思っているけれど、

どこかで「自分には起きない、自分は災害に遭わない」と思っていないですか?

人には、「たぶん大丈夫」「自分は大丈夫」と自分に都合良く考えてしまう傾向(正常化の偏見)があります。

しかし、災害はいつでもどこでも起こりうるものであり、

実際私たちはそういった災害の前では無力で敵うことはできません。

私たちは正常化の偏見を捨てて、「災害に遭うリスクは必ずあって、被害はゼロにすることはできないものだ」ととらえる必要があるのではないのでしょうか。

だからといって私たちは何もできないということではなく、日頃から災害をイメージし、

いかなる災害でも失ってはならないものは何なのかを意識し、

生き抜くスキルを持つことでどんな時でも前向きに減災につなげていくことができるのです。

では、**生き抜くスキル**とは何なのでしょう??

それは... **予測情報から判断する力** と **自ら行動する力** です!

そしてこれらを高めていくには、防災を **知る** ことが必要になってきます。

そこで... **たとえば...**

- 災害の恐ろしさを知る
- 災害の特徴を知る
- 地域の特性を知る
- 過去の災害を知る
- 災害に備えるために何をしておけばよいかを知る
- 災害の時、どう行動するのかを知る などなど...



まずは防災について「知る」ことから始めてみよう!

わが家の防災メモ	1
防災理念/もくじ	2
地震・津波① 地震・津波がもたらす危険について知っておこう!	3
地震・津波② 地震に備えて	4
地震・津波③ 地震が起きたら!!	5
地震・津波④ こんなときに地震に遭ったら...	6
地震・津波⑤ 揺れやすさマップ	7
風水害① 風水害がもたらす危険について知っておこう!	8 ~ 10
風水害② 風水害に対して何をすべきか知っておこう!	11
風水害③ 避難について知っておこう!	12
火災 火災の予防と対処のしかたについて知っておこう!	13
要配慮者・避難行動要支援者って?	14
防災グッズを備えよう!	15
【公区別】指定緊急避難場所	16 ~ 17
【公区別】指定避難所	18 ~ 19
指定緊急避難場所/指定避難所	20 ~ 21
自主防災組織って?/応急処置って?	22
災害時の伝言サービスを知っていますか?	23
防災情報 防災に関するいろいろな情報について知っておこう!	24



地震・津波①

地震・津波がもたらす危険について知っておこう!

揺れの大きさと想定される被害

震度0	震度1	震度2	震度3	震度4
人は揺れを感じない。	敏感な人や、静止している人がわずかな揺れを感じる。	屋内にいる人の多くが、揺れを感じる。戸や電灯などがわずかに揺れる。	屋内にいるほとんどの人が揺れを感じる。家具や木々が揺れる。	かなりの恐怖感がある。花瓶などの座りの悪い置物が倒れることがある。
震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
多くの人が身の安全をはかろうとする。棚にある食器類や書籍が落ち、固定していない家具が移動することがある。	多くの人が行動に支障を感じる。重い家具や自動販売機が倒れることがある。	立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。壁のタイルや窓ガラスが破損・落下する。	立っていることができず、はわないと動くことができない。耐震性の低い木造建物は傾くものや倒れるものが増える。	自分の意思では行動できない。耐震性の高い木造建物でもまれに傾くことがある。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

津波警報・注意報から予想される津波の高さと想定される被害

	予想される津波の高さ		想定される被害	とるべき行動
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の表現		
大津波警報(特別警報)	10m超(10m<高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。	沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。
	10m(5m<高さ≤10m)			
	5m(3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m(1m<高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう!
津波注意報	1m(20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。	海の中にいる人は、直ちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。

- 震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来に間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。
- 津波は沿岸の地形などの影響により局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
- 地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報(若干の海面変動)」を発表します。(出典:気象庁)